

『りこうすぎた王子』(BNラン)
アンドリュー・ラング／作 岩波書店

りこうすぎて皆から嫌われているプリジオ王子。ところがロザリンドと出会い、恋に落ちてから王子は一変。妖精も竜も信じていなかったのに竜退治に出かけます。王子は竜を退治して人気者になれるのでしょうか？



『モナミは世界を終わらせる?』(ハヤ)
はやみねかおる／著 角川書店

ドジで食いしん坊でちょっとおバカな高校生、真野萌奈美。彼女のまわりで起こる出来事が、なぜか世界の大事業と同調している。このままでは第3次世界大戦が起きてしまう！ モナミたちはどう動くべきなのか？



『街の灯』(キタ)
北村薫／著 文芸春秋

昭和初期、上流家庭のご令嬢「わたし」のもとにやってきたのは、若い女性運転手。「わたし」がひそかに「ベッキーさん」とよぶ彼女は、腕も立ち護衛もこなす。そして、事件がおこるとその謎まで……。令嬢と女性運転手が活躍する、このシリーズは、『玻璃の天』・『鷺と雪』(直木賞受賞)と続く。

利用案内

- ◆大和郡山市に在住・在学・在勤の方は、利用者カードを作ることができます。
- ◆5冊まで、2週間借りられます。
- ◆貸出中の本の予約、所蔵していない本のリクエストができます。
- ◆司書が調べ物のアシストをします。探している本が見つからないときは、お気軽にお尋ねください。

図書館のホームページを使って

- ◇パスワードを登録→貸出中の本の予約
貸出本の延長(予約が入っている場合は不可)
- ◇メールアドレスを登録→予約本の取置きをメールでお知らせ

【PC】 <http://www.yamatokoriyama-library.jp/>
【携帯】 <http://www.yamatokoriyama-library.jp/toshoi/>



【開館時間】
土曜日 9:30~21:00 土曜日以外 9:30~19:00

【休館日】
毎週火曜日、第1・第3水曜日(祝日にあたる場合は翌日休館)
年末年始 特別整理期間

【大和郡山市立図書館】
大和郡山市北郡山町211-3 やまと郡山城ホール内
TEL:0743-55-6600

yondoco

小学校高学年 中学・高校版 第11号 2012.07発行

図書館おすすめの本

()内は、分類です。



『図解
東京スカイツリーのしくみ』
(52)
NHK出版／編 NHK出版

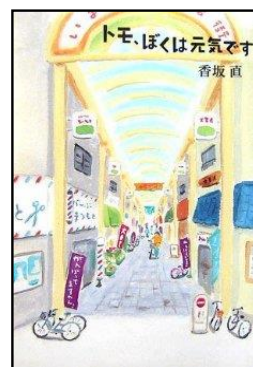
世界一高い電波塔、
東京スカイツリー。

日本の最先端技術の結晶だ。
高さ634メートルの巨大な建造物
は、どうやって出来たのだろう。
どんな構造になっているのだろう。



『バアちゃんと、
とびっきりの三日間』(ミワ)
三輪裕子／作 山本祐司／絵
あかね書房

夏休みをのんびりすごしていた小5の祥太。病気のバアちゃんを3日間預かることに。そのバアちゃんが、とんでもないことを言い出して、予想もしなかったことが起こってしまう。祥太はがんばれるのか？



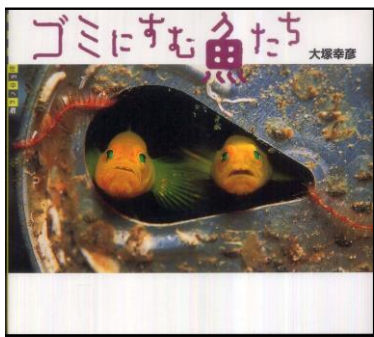
『トモ、ぼくは元気です』(コウ)
香坂直／著 講談社

ぼくは、中学受験を控えた小学6年生。兄のことで問題を起こし、罰として夏休みのあいだ、大阪の祖父母の家に預けられることになった。そこで、ぼくのイライラは解消できるのか？



『園芸少年』(ウオ)
魚住直子／著 講談社

ふとしたきっかけで高校の「園芸部」に入部した少年たち。メンバーは不良っぽい大和と、段ボール箱をかぶって登校する庄司、何となく日々を過ごす篠崎。草花の生長と彼らの成長がオーバーラップする。



『ゴミにすむ魚たち』(481)
大塚幸彦／文・写真 講談社

海底に放置されているさまざまなゴミ。そのゴミを利用してたくましく生きる魚たち。どこかユーモラスな姿の中にも海のゴミ問題について考えさせられます。



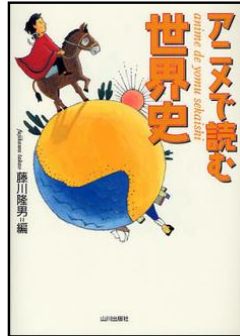
『集めて楽しむ昆虫コレクション』(486)
安田守／写真・文 山と溪谷社

ハサミムシのハサミ、実物大の虫の抜け殻、ハチの古巣やクモの網、生きている虫にとりついて殺してしまう殺虫キノコなどを、季節ごとに美しい写真とともに紹介。



『みんなが知りたい放射線の話』(53)
谷川勝至／著 少年写真新聞社

東日本大震災以降、耳にする機会が増えた「放射線」。そもそも放射線って何だろう？ 同じ「ヨウ素」でも安全なものや危険なものがあるのはなぜ？ むやみに怖がらずに、まずは放射線について知る事からはじめよう。



『アニメで読む世界史』(204)
藤川隆男／編 山川出版社

『フランダースの犬』や『アルプスの少女ハイジ』といった9つの物語を通して、作品の舞台となった19世紀から20世紀にかけてのヨーロッパ・アメリカの社会情勢や時代背景を読み解いていきます。



『イグアナくんのおじやまな毎日』(Bサト)
佐藤多佳子／著 中央公論新社

ある日突然イグアナがウチにやってきた。イグアナはデリケートな生き物で温度管理やエサのサラダ作りなど世話をするのはとても大変。その世話を私がする事に！ 「ヤダモン」と名付けて世話をするけれど……。



『かんさい絵ことば辞典』(818)
ニシワキタダシ／著 早川卓馬／コラム
ピエ・ブックス

「ほったらかす」「てんこもり」「しんどい」といった、私たちには馴染み深い関西弁。その言葉に楽しい1コマイラストを添えて、ユーモアたっぷりに紹介。なかには、これって関西弁やったん？ というものも……。



『キュッパのはくぶつかん』(Eキ)
オーシル・カンスタ・ヨンセン／さく
福音館書店

まるたのおとこのキュッパは、いろんなものを集めるのが大好き！ どんどん集めすぎて、とうとうしまうところがなくなりました。そこで、博物館を開くことにしました。



『昭和の家事 母たちの暮らし』(590.2)
小泉和子／著
河出書房新社

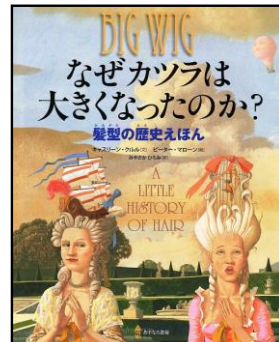
昔の家事は知恵と技と工夫が一杯。職人技です。忘れてしまっては「モッタイナイ！」



『君になりたい』(911)
穂村弘／編 後藤貴志／絵 岩崎書店

はい、あたし
生まれ変わったら君になりたいくらいに
君が好きです。

恋の短歌を十四首収録。



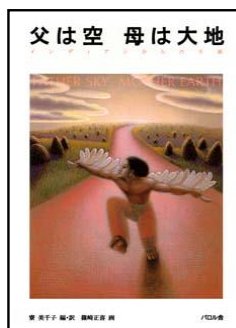
『なぜカツラは大きくなったのか？』(Eナ)
キャスリーン・クルル／文
ピーター・マローン／絵 あすなろ書房

アヘン、オリーブオイル、セイヨウワサビ、ハトの糞、ワイン。これらを調合してできたのが、2400年前のハゲ治療薬。そして、電気掃除機にヒントを得てできたものとは……。古代から現代までの髪にまつわる不思議に迫ります。



『とんぼ』(Eト)
チョン・ジョンチョル／詩
イ・グワンイク／絵 岩崎書店

とんぼが死に、ありに曳かれてばらばらになり無くなって……。否、再生して続いてゆくんだよ。私たちもその輪の中にいるんだよ。14歳の少年が命の法則の気付きをうたっている。



『父は空 母は大地』(726)
寮美千子／編・訳 篠崎正喜／画 パロル舎

この地上にあるものすべてが神聖と語るインディアン。彼らが愛す空、大地、川はいまやどうなっただろう。彼らが愛したように私たちも空を、大地を愛してきたらどうか。